

防災ハザードマップ

防災ハザードマップは、降雨によって浸水が想定される区域と水深、土砂災害による危険性がある区域、指定避難所、指定緊急避難場所を掲載しています。

日頃からハザードマップを活用して、自宅や学校、職場等の危険性を確認しておきましょう。

土砂災害

島根県が指定している土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

洪水

想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、斐伊川・神戸川が氾濫した場合の浸水の状況



出雲市 保存版

防災

ハザードマップ

令和8年度版

洪水・土砂災害・地震

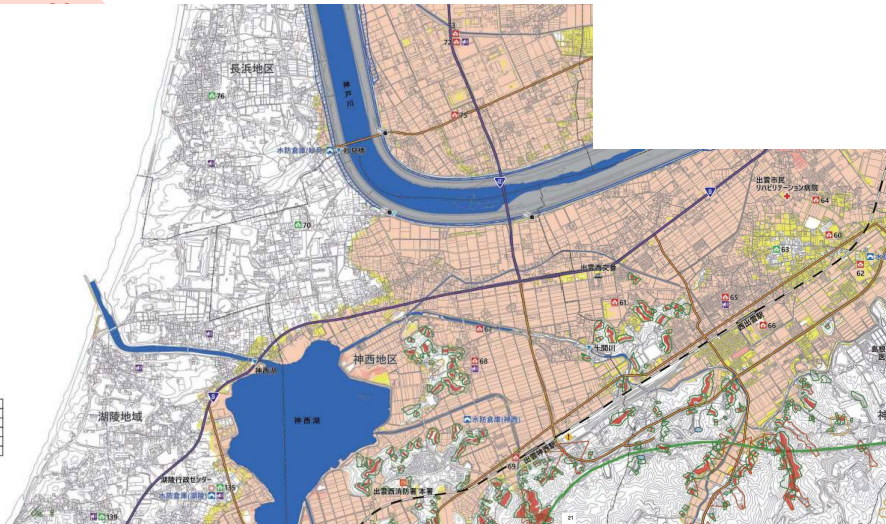
“もしも”に備える

いろいろな国のことばで あぶないところや ひなんするところをみるができます。

対応言語	English	簡体中文	繁體中文	한국어
Português	Tiếng Việt	Español	Bahasa Indonesia	
Tagalog	русский	Français		
ଈ଼	नेपाली	বাংলা		

出雲地域西部 [古志、神門、神西、長浜]

神西地区周辺防災ハザードマップ（出雲市防災ハザードマップ）



凡例

浸水深：想定最大規模



家屋倒壊

- 家屋倒壊(洪水氾濫)
- 家屋倒壊(河津侵襲)

このハザードマップに記載した浸水想定区域は、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、斐伊川・神戸川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 実際の浸水想定は、想定外の降雨や越える規模の大雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等が発生しているため、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。浸水想定区域は、浸水の浸水深と異なる場合があります。

土砂災害

- 警戒区域(急傾斜)
- 特別警戒区域(急傾斜)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(滑すべり)

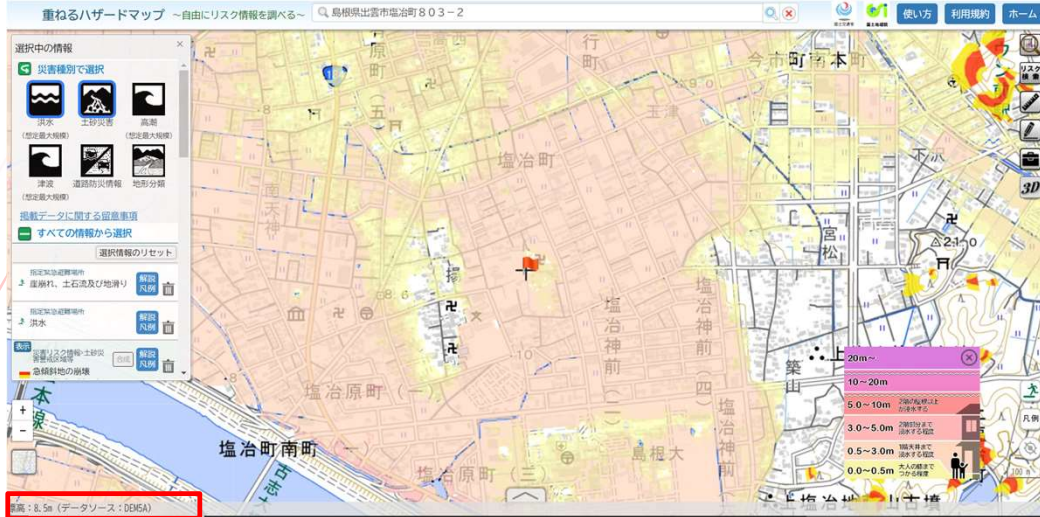
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 水防倉庫
- サイレン
- 病院
- 危険管理型水時計
- 国道
- 県道
- 河川カメラ
- 防災重点の避難所(心付)
- 避難所
- 電線管、交通、駐在所
- 水位観測所
- 高浸水路

21

重ねるハザードマップ

国土交通省が運営するサイト

国土地理院の地図に洪水、土砂災害ハザードマップ等を重ねることができる。



22

浸水ナビ

<https://suiboumap.gsi.go.jp>

国土交通省が運営するサイト

斐伊川の破堤ポイントを選択し、経過時間ごとの浸水状況をシミュレーションできる。



備える



災害に対する基本的な考え方



自助・共助・公助の仕組み！

(自分と、地域と、行政で、命を守る。)



1. 自助 - 自分で備える

家族の命は自分たちで。



家族の命は自分たちで。

2. 共助 - 地域で支え合う

避難誘導や助け合い。



防災の三本柱のサイクル



3. 公助 - 行政による支援

救助、復旧、物資配布。



救助、復旧、物資配布。

自助、共助、公助の連携で、安心。

25

災害による高齢の方や障がいのある方の犠牲

- 東日本大震災
犠牲者のうち高齢者が約 6 割、障がい者死亡率は 2 倍
- 令和元年台風第 19 号
犠牲者のうち 65 歳以上の割合 約 65%
- 令和 2 年 7 月豪雨
犠牲者のうち 65 歳以上の割合 約 79%

⇒「災害時要支援者」の命を救う取組みが必要！

26

地域の防災力の必要性①

- 阪神・淡路大震災の教訓
地震直後 約 164,000 人ががれきの下敷きに。
約 8 割は自力脱出したが、約 35,000 人生き埋め
その内
 - 約 27,000 人 近隣の住民が救出、その 8 割が生存
 - 約 8,000 人 警察・消防・自衛隊が救出
その半数は死亡

⇒大災害時には、国や地方公共団体の救助・救援がすぐには期待できない中、家族や近隣住民等の助け合いが多く命を救う！

27

地域の防災力の必要性②

<誰が避難支援をしたか？>

- ▶ 第1位 101人 家族・同居者
- ▶ 第2位 97人 近所・友人
- ▶ 第3位 74人 福祉関係者
- ▶ 第4位 30人 警察・消防（団を含む）

※内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」（東日本大震災時、315人、複数回答あり）2013年



⇒家族や近隣住民の声かけが多く命を救う！

28

避難プラン（個別避難計画）作成の取組

いざという時に、高齢の方や障がいのある方など、より安全に、より早く避難できるよう**避難プラン（個別避難計画）**の作成を、地区または福祉専門職（介護支援専門員・相談支援専門員）の皆さんにお願いしています。

- ✓「災害が起きたときに駆けつけてくれる人は決まっていますか？」
- ✓「避難先は決まっていますか？」
- ✓「自分一人で避難ができますか？」

日頃からの備え(共通)

食料・飲料などの備蓄は充分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例(人数分用意しましょう)

- 飲料水 3日分 (1人1日3リットルが目安)
- 非常食 3日分の食料として、ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- トイレトーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく・カセットコンロ など

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく、などの備えをしておきましょう。



※首相官邸HP

非常用持出品の準備はできていますか？

非常持出品		避難するときに持ち出す最小限の必需品です。避難行動の支障とならない必要最低限のものをまとめておき、すぐに取り出せるところに保管しておきましょう。
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(10円玉も) <input type="checkbox"/> 携帯電話及び充電器 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳(キャッシュカード) <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 印かん <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 緊急連絡先メモ など	さがしている間に逃げ遅れてしまつては、元も子もありません。貴重品はあらかじめまとめておきましょう。
救急医療品・常備薬	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 胃腸薬 <input type="checkbox"/> 自薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 持病の薬 <input type="checkbox"/> 処方箋 <input type="checkbox"/> お薬手帳 など	いつも使っている薬などを入れておくとういでしょう。
非常食・飲料水	<input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> チョコレート <input type="checkbox"/> 飲料水(ペットボトル) <input type="checkbox"/> 粉ミルク など	最低3日分は用意しましょう。
生活用品	<input type="checkbox"/> ライター(マッチ) <input type="checkbox"/> ろうそく <input type="checkbox"/> ナイフ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> 紙コップ <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 など	メガネや補聴器、入れ歯など、自分なりの必需品も準備しておきましょう。
衣類	<input type="checkbox"/> 上着 <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> くつ下 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> カッパ(レインコート) など	寒い時期の場合は、防寒対策を忘れずに。
その他	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 防災ずきん <input type="checkbox"/> 携帯トイレ など	停電や断水になったときのことを想定して準備しましょう。予備の電池は多めに準備しましょう。

31

非常持出品（障がいがある方の持出品の例①）

聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器や人工内耳などの電池 ・スマートフォンなど携帯端末 ・予備のバッテリーや充電器 ・筆記用具（筆談をするため） ・懐中電灯
視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・白杖 ・めがねやルーペ ・時計（音声・触知式など） ・点字板 ・ラジオ ・家族写真（避難所で家族を探してもらうため）
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすや歩行器、杖 ・床ずれ対策ができるもの ・紙おむつや携帯トイレなど

※首相官邸HP

32

非常持出品（障がいがある方の持出品の例①）

聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器や人工内耳などの電池 ・スマートフォンなど携帯端末 ・予備のバッテリーや充電器 ・筆記用具（筆談をするため） ・懐中電灯
視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・白杖 ・めがねやルーペ ・時計（音声・触知式など） ・点字板 ・ラジオ ・家族写真（避難所で家族を探してもらうため）
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすや歩行器、杖 ・床ずれ対策ができるもの ・紙おむつや携帯トイレなど

※首相官邸HP

家族どうしの安否確認方法は決まっていますか？

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡がとれない場合もあります。その際には以下のサービスを利用しましょう。

災害用伝言ダイヤル

- 局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

※一般加入電話や公衆電話、一部のIP電話からご利用できます。

※携帯電話・PHSからもご利用できます。詳細は以下のページをご覧ください。

> 171～災害用伝言ダイヤル（政府広報オンライン）

災害用伝言板

- 携帯電話やPHSからインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます

> 知っていますか？ 災害用伝言板（政府広報オンライン）



※首相官邸HP

行動する



避難のポイント

■ 危険を感じたら早めの避難

■ 避難とは「難」を「避」けること

安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

■ 避難先は小中学校、コミュニティセンターだけではありません

安全な知人・友人宅に避難することも考えてみましょう。

■ 緊急時に備えて日頃から持出品の準備を!

マスク・消毒液は、できるだけ持参してください。

■ 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です

車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況を十分確認してください。



警戒レベルと取るべき行動

警戒レベル	住民がとるべき行動	市の対応	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報
【警戒レベル4までに必ず避難!】			
4	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
3	危険な場所から高齢者等避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報
2	自らの避難行動を確認		大雨注意報 洪水注意報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報 (警報級の可能性)

新たな防災気象情報の運用について

～令和8年の大雨時期から防災気象情報が生まれ変わります～

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のけずれや 土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

警戒レベル相当情報の新たな情報体系

主な変更点

● 5段階の警戒レベルへの整合

避難情報に関するガイドラインでは、5段階の警戒レベルで住民がとるべき行動が設定されています。対象となる災害である河川氾濫、大雨、土砂災害及び高潮に関する情報等は、これまで警戒レベルと情報との対応が対象災害ごとに異なる運用となっていたところ、今回、5段階すべての警戒レベルに対応した情報を改めて設定し、とるべき行動の判断をより一層支援できる情報体系に改善します。

● 情報へのレベルの付記

情報と対応する防災行動をよりわかりやすくするため、情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。レベル3～5については警戒レベル“相当”情報ですが、分かりやすさ、伝わりやすさを重視し、例えばレベル3相当の大雨警報は、レベル3大雨警報とします。

(大雨警報→レベル3大雨警報、高潮注意報→レベル2高潮注意報 など)

● 河川氾濫に関する特別警報の新設

河川氾濫に関する特別警報として、新たにレベル5氾濫特別警報の運用を開始します。レベル5氾濫特別警報は、洪水予報河川において氾濫が差し迫ったときに発表します。

● レベル4相当情報としての「危険警報」の運用

レベル4避難指示の発令等の目安となるレベル4相当の情報として危険警報を運用します。

(土砂災害警戒情報→レベル4土砂災害危険警報 など)

39

災害時の行動に影響する心理的要因①

正常性バイアス

逃げ遅れの一要因

- 危険に直面しても事態を正常の範囲内と認識
- 自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価して認識



自分は大丈夫



40

災害時の行動に影響する心理的要因②

同調性バイアス

逃げ遅れの一要因

- 周りの人の行動に自分の行動を合わせてしまう心理



みんなと
一緒だから大丈夫



41

防災情報の入手手段

- 防災行政無線
- テレビ・ラジオ
NHK、データ放送、エフエムいずも など
- インターネット・メール
気象庁・国土交通省・島根県・市などのホームページ
いずも防災メール、しまね防災メール
Yahoo!防災速報アプリ など



複数の手段で防災情報を収集しましょう

42

防災行政無線戸別受信機

戸別受信機は、地震・津波情報、気象情報、避難情報、緊急のお知らせ、行政情報を放送します。

- 緊急地震速報、大雨・洪水警報、避難情報等の緊急情報は最大音量で放送
- 停電時も電池で受信するから安心

お申し込みは本庁防災安全課または各行政センターへ
メールやFAX等からでも申請可能
※加入時1回のみ加入料5,000円が必要



戸別受信機を設置してみませんか？

いずも防災メール、しまね防災メール

防災メールは、**地震・津波情報、気象情報、避難情報、緊急のお知らせ等**を登録いただいたアドレスに配信します。

【登録方法】

QRコードを読み取って登録用アドレスに空メールを送信

- いずも防災メール(出雲市が運用)
登録用アドレス bousai.izumo-city@raidai.ktaiwork.jp
- しまね防災メール(島根県が運用)
登録用アドレス register@bousai-shimane.jp



登録していない方は、登録してみませんか？

寺田寅彦「天災と国防」1934年

「日本はその地理的の位置がきわめて特殊であるために、(中略)特殊な天変地異に絶えず脅かされなければならない運命のもとに置かれている。」

「ある年は**災禍が重畳**し、また他の年には全く無事な回り合わせが来るということは、純粹な偶然の結果としても当然期待されうる『自然変異』(自然のゆらぎ)である。」

「悪い年回りはむしろ、いつかは回ってくるのが自然の鉄則であると覚悟を定めて、**良い年回りの間に十分の用意をしておかなければならない**ということは、実に明白すぎるほど明白なことであるが、また**これほど万人がきれいに忘れがちなこと**もまれである。」

寺田寅彦先生

(国会図書館「近代日本人の肖像」)



寺田寅彦(てらだ とらひこ、1878年(明治11年)11月28日 - 1935年(昭和10年)12月31日)は、日本の物理学者、随筆家、俳人。



Thank you
Obrigado
谢谢
고맙습니다

ご清聴ありがとうございました。